

## 子供たちの自立と社会参加のために

教頭 佐藤 宏充

新年あけましておめでとうございます。

私は、当校勤務は 2 回目となりますが、1 回目の勤務では 2008 年（平成 20 年度）から 6 年間、高等部と中学部でお世話になりました。昨年 4 月に着任してまず驚いたことは、当時小学部 1，2 年生だった子供たちが高等部で立派に成長していたことです。今では廊下ですれ違うたびに、自分から「お疲れ様です！」と元気に挨拶をしてくれます。大きな成長を感じ、本当に嬉しい気持ちになります。

さて、少し、当時のことを振り返ってみたいと思います。2010 年（平成 22 年）、校舎の全面改築と増築棟（就労学習スペース、通級指導スペース）の新築工事があり、2011 年（平成 23 年）3 月に工事が終了しました。翌年度（平成 23 年度）からは通常の学習に加えて、就労学習スペースを活用した職業教育が高等部では加速していきました。当時の私は、高等部に所属し、進路指導を担当していましたので、就労学習スペースの活用と高等部卒業後の就労先開拓という大きなミッションをいただきました。はじめから大切にすることは、ごっこではなく、本物と実用を追究しながら増築棟を活用することでした。学校の向かいにある美容室から、使用しているタオルを洗濯、乾燥し、きれいに畳んで納品する作業を請け負うことができました。うれしそうな表情で、きれいに畳んだタオルを納品に行く生徒の姿は今でも忘れられません。また、コーヒーショップを開拓し、実際に従業員の方から接客マナーを教えてもらったり、定期的に授業中に職場体験に伺ったりしながら学ばせてもらいました。研究会当日には、中庭で、コーヒーショップの方と生徒たちで参会者にコーヒーを提供しました。笑顔で心掛けながら接客していた生徒たちの姿が思い出されます。

私が特別支援教育に携わったのは、今から約 20 年近く前です。その当時は就職できそうな会社があると、周囲は「こんないい会社はない。他に就職できる場所など見つからない」と言わんばかりにその会社を勧めていたことに私は疑問を抱きました。そして、「いつか生徒一人一人が自分の将来を自分で選び、自分で決めることができる世の中になってほしい」と思い、これまで取り組んできました。今でこそ、当たり前のように使われる自己選択、自己決定という言葉ですが、職業教育をはじめとしたキャリア教育が、特別支援学校でも少しずつ充実してきた成果だと思います。本年も、理想とする社会を目指し、子供たちの自立と社会参加のために、職員一同力を合わせて、地道に取り組んでいきます。引き続き、変わらぬご支援をよろしく願いいたします。





# 元気に3学期スタート!

～始業式の様子をお伝えします～

## ★小学部3組★

3学期楽しみなことや頑張ることをインタビュー形式で発表しました。



## ★中学部3年★

「丁寧な言葉を使う」「時間を守る」など、高等部に向けて頑張ることを発表しました。



## ★高等部1年★

手作りのうさぎのお面をかぶって、初詣のようにおまいりしながら今年のめあてを発表しました。

